

# げんきアップ通信

発行：2019年11月1日 編集 浦和東部地区元気アップネットワーク  
 連絡先：スマイルハウス浦和 電話 048-813-7710  
 HP：https://genkiupnw.webu.jp/ Facebook：/genkiup.urawaeast/

スポーツ & 健康マガジン (旧浦和SCニュース vol.225)



# 月刊 うらすぽ

第25号



発行：2019.11.1  
 NPO 法人浦和スポーツクラブ

info@urawasc.org https://urawasc.org  
 TEL:048-887-7140 FAX:048-677-7598

## みんなの学校「健康づくりコース」

11月30日(土) 13時~14時45分の予定で、領家公民館のホールをお借りして、健康講座を開催します！

みんなの学校・健康づくりコース  
**健康診断結果から見る講座**  
**食事・運動・ヨガ・ツボ**  
 健康診断の結果からご自分に合った健康法を体験・実践しませんか？



開催日時 **11月30日(土)**  
**13:00~14:45**

会場 **領家公民館 浦和区領家4-21-21**  
**1階多目的ホール**

持ち物 **健康診断の結果表、上履き**  
**飲み物、タオル、動きやすい服装**

参加費 **200円(資料代)**  
**受付時お支払い**

主催：浦和東部地区元気アップネットワーク みんなの学校運営委員会  
 連絡先：スマイルハウス浦和 電話：048-813-7710

## ■みんなの学校

10月5日(土)に、「地域を力」を考えるコースが領家公民館で開催されました。

今回からシリーズで「地域を支える力」に焦点をあて、ボランティア活動をされている方々からお話しを伺っていくこととしました。

この日は、元気アップネットワーク代表 井上誠さんから「助け合い活動で喜びのある日々の生活を求めて」、おたっしや倶楽部の山崎きくえさん「めぐり合い 自分らしく活動に参加して」と題してお二人からお話しをいただきました。

地域で何か活動をしていきたいとお考えの方には大変参考になるお話しだったと思います。



なお、次回は、12月7日(10時~領家公民館)に、**やまざくら福祉協会代表の内田立蔵さん**にお話しを伺うこととしています。

## ■みんなの学校「地域を学ぶコース！」

10月26日(土)に「散歩で出会う近隣の地名あれこれ」と題し、講師に竹内昭さんをお迎えし、領家・南箇・北袋・木崎・皇山の地名の由来について学びました。

次回は11月26日(土)10時~領家公民館で、さいたま新都心の概要について学びます。

## ■元気アップサロンの予定

11月	12月
1日(金)10時~ 領家公民館	4日(水)10時~ 領家公民館
7日(木)10時~ 木崎自治会館	12日(木)10時~ 大東公民館
14日(木)10時~ 大東公民館	20日(金)10時~ 領家公民館
21日(木)10時~ 南箇公民館	27日(金)10時~ 南箇公民館
25日(金)10時~ 領家公民館	

2019年2月から、浦和スポーツクラブが発行するスポーツ&健康マガジン月刊「うらすぽ」と、浦和東部地区元気アップネットワークの広報を合体しました。当面は2000~3000部を配布し、スポーツや運動、健康に関する様々な取組み情報、お知らせをとおして、地域の元気づくりに少しでも役立てばと考えています。配架して下さるお店や施設がありましたらお知らせください！

## スポーツ鬼ごっこ 全国大会参加！

先月行われた埼玉県予選で3位入賞を果たし、全国大会への進出を決めていた、ウラスポ“スポーツ鬼ごっこ”U-12とU-9の両チーム。

10月27日(日)に成田市中台運動公園陸上競技場で開催された第8回スポーツ鬼ごっこ全国大会に参加してきました！

この日のために、お揃いのTシャツをつくった浦スポメンバーは、気合十分！

しかし、会場はいつもの室内とは違う屋外の天然芝のグラウンド。昨日までの雨もあり水気を含んだ芝のピッチは体育館で鋭いステップを培ってきた子ども達には・・・、そうなのです、滑るんです。

滑る芝に悪戦苦闘しながらも、相手チームを一生懸命追いかけて、お宝をゲットすべく走りまわりました！

残念ながら決勝トーナメントには残れませんが、頑張ったメンバーには拍手を送りたいと思います！

また、クラブのスポーツ鬼ごっこメンバーは、自分たちで話し合って作戦を決めて、お互いに助け合いながらプレイしていることが随所に見られることも、素晴らしかったと思います。



■心配された雨があがった競技場■



## ■ラグビー豆知識！

9月下旬から、国内のスポーツ界の話題を独占する勢いなのがラグビーワールドカップ！

「にわかラグビーファン」なんて言葉が好意的に受け止められ、街中でラグビーの話があちこちから聞こえてきます。

そこで、この人気が続いていくように、さらに皆さんに詳しくなっていくためのミニ講座！

主に埼玉のラグビーの歴史について紹介します！

が、その前に、これだけは伝えたいことを先に。

### 「アフターマッチファンクション」って何？

TV解説などですすでにお聞きになられている方もいるかもしれませんが・・・

言ってみれば、試合が終わった後の合同飲み会です！

ラグビーでは試合の後に、両チームに審判団も加わり、一緒に軽食とビールなどで交流する場を持つことを大切に続けてきているそうです。同じフットボールでもサッカーとはずいぶん違いますね！

ホスト側が会場を設定、軽食やドリンクを用意し、選手の着替えやチームミーティングなどが終わった後に、スタジアム内や、場合によっては近隣の飲食店などで行われているそうです。

そこでは、対戦チームの選手とも、試合中のことを振り返りながら、一緒にいろいろ話をして、お互いの健闘をたたえています。

試合が終われば、互いに勝利を目指してしのぎを削り合った者同士・・・つまりラグビーの対戦相手は「敵」ではなくて同じスポーツに取り組んだり楽しんだりする「仲間」という意識が共有されているのだと思います。

この習慣は、日本国内の各年代の試合でも受け継がれていて、児童・生徒の試合であっても、ソフトドリンクで交流することが行われるそうです。

このように試合が終われば、選手同士が仲良くしているのに、サポーター同士がいがみ合って喧嘩をする。。。なんてことになるわけがありません。

今回のワールドカップでも、対戦チームの応援団同士が、試合前に一緒にの歌い、呑み、試合後もお互いのチームの健闘を讃え合う姿が話題になりましたが、この文化は、対戦相手を「敵」と呼び、ともすれば対戦チームの選手に人種差別的な罵声を発するサッカーのサポーターたちの振る舞いとは一線を画すものです。



試合後の両チーム選手の歓談



ファン同士は試合前も試合後も、試合中までも並んでそれぞれを応援する姿が見られました

## 「西の花園 東の熊谷」・・・

西の花園は、言わずと知れた高校ラグビーの聖地、東大阪市にある花園ラグビー場のことです。熊谷が「東の・・・」と言われるようになったのは、春の高校選抜大会の会場となった2000年からのことだそうです。

現在は、ワールドカップ用に改修されていますが、元は1991年に整備され、当時から24000人収容の観客席を擁するラグビー専用球技場でした。このようなラグビー専用球技場は、全国的にも数少なく、花園、名古屋の瑞穂運動公園のラグビー場、神宮の秩父宮ラグビー場などしかありません。今回のラグビーワールドカップの12会場でもラグビー専用は花園と熊谷だけとなります。

### 「埼玉のラグビー」

1922年、旧制浦和高（現在の埼玉大）でラグビーチームが練習を開始したとされていますが、県内に本格的なラグビーが芽生え始めたのは昭和20年以降のことで、旧制浦和中学（現在の県立浦和高）の体育の授業にラグビーが採用されたことがきっかけとなったそうです。

県内勢の花園優勝は、1990年の70回大会で熊谷工業が成し遂げています。

### 「埼玉出身の名選手」

現在でも日本ラグビー史上最高のスクラムハーフ（SH）として語り継がれる宿沢広朗氏は、熊谷高校～早稲田大学、卒業後は銀行マンとして日本代表でも活躍。その後、日本代表監督やラグビー協会理事も努められましたが、2006年55歳で他界されてしまいました。

また、宿沢氏と並び称される名SH堀越正巳氏は、熊谷工業から早稲田大学に進み大学選手権、日本選手権も制覇。卒業後は神戸製鋼に入社し、日本選手権7連覇を果たしています。現在は、熊谷に戻られて学生の指導などにあたられています。

また、ワールドラグビー理事兼エグゼクティブコミッティー委員として、今回のラグビーワールドカップの日本開催に尽力された矢部達三氏も、県立浦和高から早稲田大学で活躍し、その後、ラグビー協会専務理事なども歴任されています。



西の聖地 花園ラグビー場



東の聖地 熊谷ラグビー場



熊谷ラグビー場改修前

## ■ボランティアスタッフ大募集中！

クラブでは、引き続きボランティアスタッフを募集しています！ 関心のある方はクラブまで電話を！

- 12月21日（土） 女子サッカー交流会（記念総合）
- 2月下旬（未定） みんなのサッカー体験会（埼玉スタ）
- 2月29日（土） 親子チャレンジスポーツ（記念総合）

## NPO法人正会員募集！

浦和スポーツクラブの正会員になって、私たちと一緒に、自分の、家族の、友人の、そして地域のスポーツライフを豊かにすることに取り組みませんか。好きなスポーツでつながる、明るくなる、元気になる、スポーツの不思議な魅力に、皆さんのアイデアを加えて、楽しまわっていきますか。詳しくは、事務局にお問合せください。

NPO法人浦和スポーツクラブ（1991年設立）

0歳～92歳まで、1,000名を超える会員がサッカー、テニス、卓球、フィットネス、バドミントン、健康・体力づくりなど多様なプログラムを、それぞれのニーズにあわせて楽しむ市民クラブ。

星空スポーツ広場など気軽に参加できる場や、部活動のサポートを行うとともに、浦和東部地区元気アップネットワークに参画し、スポーツや運動の視点から住民の健康づくりやつながりづくりに取り組んでいます。事務所とフィットネススタジオは領家郵便局の斜め前にあります！